



みかづき
三日月はどうして「みかづき」というの

ちきゅう まわ まわ つき
地球の周りを回る月

よぞら あか つき まんげつ みかづき つき がち まいにちすこ
夜空に明るくかがやいている月。満月があったり、三日月だったり、月の形は毎日少し
づつ変わっています。

つき がち つき ちきゅう まわ まわ つき たい
月の形はなぜかわるのでしょうか。それは、月が地球の周りを回っていることと、月は太
陽の光を反しゃして光っていることに関係があります。

しんげつ みっか つき みかづき
新月から3日めの月が三日月

つき ちきゅう にち み がち ちきゅう み
月は、地球を29.53日かけて満ち欠けをし、もとの形にもどります。地球から見て
つき たいよう おな ほうこう つき み しんげつ
月が太陽と同じ方向にあるとき、月は見えません。これを、新月とよびます。

しんげつ みっかめ つき みかづき しんげつ
この新月から3日目の月を、「三日月」とよんでいるのです。ちなみに、新月から15
にちめ つき まんげつ よる じゅうごや
日目の月は満月ですが、この夜を「十五夜」とよんでいます。(監修 国司 真)

